**永田橋**

1907年、昼休みに家へ戻る途中だった小学生たちが、悲惨にもこの場所で溺れました。児童を乗せて永田川を航行していた渡り船が沈没したのです。地元で資金を集めて、橋が建てられることになり、その翌年、犠牲になった子どもたちを象徴する7本の杭が打たれた木造の橋ができあがりました。現在の永田橋は7代目で、当時とは異なる設計のコンクリート製です。この場所は、痛ましい場所であると同時に絶景スポットでもあり、屋久島で2番目に高い1,886メートルの永田岳と、東シナ海に沈む夕陽を眺めることができます。